

Caduceus Information

カデューシャス 通信

Vol.14

(平成25年5月号)



photo 事務部 本間重規



シンボルマークについて

当院のシンボルマークは、平和と医術の象徴であるカデューシャス (Caduceus) のつえを頭蓋骨穿孔器 (ずがいこつせんこうき) に置きかえ、ヘビの顔は世界を知る意味で外へ向けています。翼の下にある Ω は脳神経外科 (Neurosurgery) のことを意味しております。

- ・当院における抗菌薬の使用動向と
検出菌株感受性率
(院内感染対策研修会より)
- ・回復期リハビリテーション
- ・寄り添う気持ちを大切に
東日本大震災ボランティア活動に参加して
- ・新任ドクター、スタッフ紹介

当院における抗菌薬の使用動向と検出菌株感受性率 (院内感染対策研修会より)

抗菌薬の使用数が減少し、耐性化も防止

抗菌薬は感染症治療に必要不可欠ですが、一方では、使うほど耐性菌を作り出すという側面を持っています。抗菌薬と微生物の歴史から新規抗菌薬の開発は滞っており、抗菌薬を大切に使い長持ちさせて耐性菌の拡散を防ぐことは世界的な課題ともなっています。そのため、必要のない抗菌薬の使用は避け、できるだけ起因菌以外には作用しないような抗菌スペクトラムの狭い抗菌薬を選択し、使用の際は、適正な量・間隔・期間で投与することが求められています。



日本病院薬剤師会認定
感染制御認定薬剤師
薬剤科長 黒畑美津枝

当院では、平成17年より、一部の抗菌薬の届出制やMRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)用抗菌薬の血中濃度モニタリング等を開始し、抗菌薬の使用動向や検出菌株感受性率を確認してきました。昨年は新築移転し、手術数も増加している中、当院の抗菌薬使用数は平成23年から更に減少しており、なかでも注意が必要なMRSA感染症に使用される抗菌薬は、平成24年には全く使わずに済みおり(図1)、そのまま未使用で現在に至っています。また、検出頻度の高い緑膿菌は抗菌薬に対する耐性化が特に懸念されておりますが、当院の緑膿菌分離株に対する抗菌薬の感受性率は、どの抗菌薬も全国平均より感受性率が高く(図2)、耐性化が防止され、よく効く状況にあることが判っています。

図1 抗菌薬使用数の年別推移

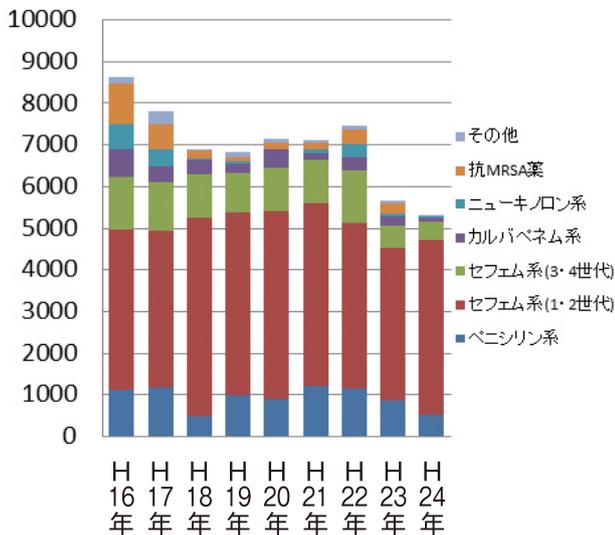
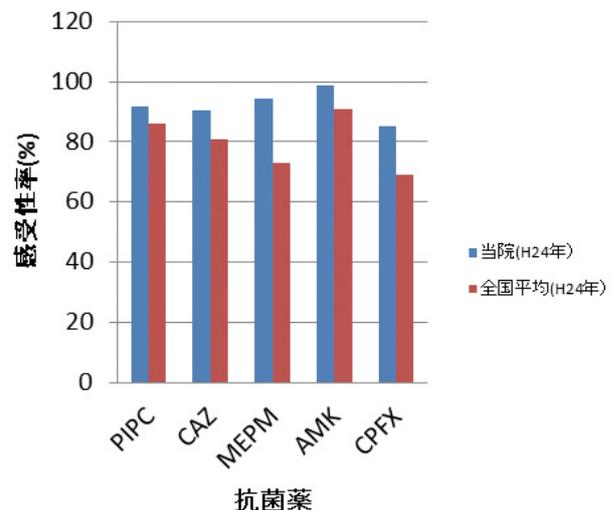


図2 抗菌薬の緑膿菌分離株に対する感受性率
- 全国平均との比較 -



病院全体で感染防止へ取り組む

侵襲性の高い医療機器や手技が増加し、免疫の低下した患者様の多い病院では、感染症の予防や感染の伝播を抑えることは非常に重要で、抗菌薬の耐性化防止にも繋がります。そのため、当院においても感染対策委員会を中心に様々な取り組みを行っています。特に、感染対策の基本である手指衛生に対しては、適正に行うことができるよう全職員を対象に毎年研修を行っています。また、院内感染対策の取り組み推進を評価した診療報酬に基づき、平成24年度からは、当院も他施設と共同のカンファレンスへ参加し意見交換を行っています。新病院では、療養環境も種々整備されましたので、これからも病院全体で感染防止に取り組み、抗菌薬の適正使用に努めていきたいと思っております。

回復期リハビリテーション

新病院開設に伴い、3階病棟を回復期リハビリテーション病棟として運営しております。

当院では脳血管疾患、脳腫瘍、脊椎脊髄疾患、外傷等、主に急性期疾患を中心に診療しておりますが、運動麻痺や失語症などの神経症状が残ってしまった患者さんには、長期間のリハビリテーションが必要になります。旧病院では、このような患者さんには、専門のリハビリテーション病院に転院していただいていた。発症時から自宅退院に向けて、一貫した診療が出来ないこともしばしばあり、患者さんやご家族にご不便をおかけしておりました。

回復期リハビリテーション病棟では、これまでより長期に入院することが可能ですので、よりきめ細やかな診療を行うことが可能になりました。脳神経外科領域の疾患では入院日もしくは手術日より2か月以内にリハビリテーション病棟に移り、その日から90日～180日間のリハビリテーションが可能です(入院期間は疾患および病状により異なります)。リハビリテーションには理学療法、作業療法、言語療法がありますが、患者さんの症状によってはこれらに強弱をつけ、日常生活の自立度向上に向けて、柔軟な治療ができるようにしています。

これまでは転院していただいていたような患者さんの多くが、ご自分で歩いてご自宅へ戻られるようになり、そのお姿を見ることで私たち自身にも励みになっています。またリハビリを行っても、症状が残ってしまった患者さんが退院するにあたっては、介護保険を含めた種々のサービス調整を医療社会福祉士(MSW)が行います。

毎日午後には医師、看護師、担当療法士、医療社会福祉士が集まってカンファレンスを行い、個々の患者さんのリハビリの進捗状況や問題点などを明らかにし、その後のリハビリにつながるよう話し合っています。

本年5月までは月曜日から土曜日まで終日リハビリを行っておりましたが、療法士を充足させ、6月からは休日も休まずリハビリを行う予定です。



理学療法



作業療法



言語療法

平成24年5月1日より平成25年4月30日までの1年間の実績

1.回復期リハビリ病棟入院患者数	222人	3.重症患者数(日常機能評価10点以上)	54人
2.疾患内訳		重症患者率	24.3%
脳梗塞	102人	4.退院患者数	186人
脳出血	37人	自宅退院・施設入所数	149人
くも膜下出血	4人	転院数	37人
脊髄疾患	64人	在宅復帰率	80.1%
外傷	8人	5.重症患者改善率	46.2%
その他	7人		

寄り添う気持ちを大切に ～東日本大震災ボランティア活動に参加して～

昨年2月中旬から4月末までの約6週間でしたが、宮城県内でボランティア活動に参加してきました。

仙台行きのフェリーで知り合った彼女は、避難先の札幌から仙台に帰郷するところでした。「外に出たら塀が波打っていて、立ってられないし、隣の家が崩れてきて怖かった。はじめて震災のこと話すんです。やっと話せるようになったんです。」と、彼女は地震の瞬間を静かに話しました。そして、ただただ頷きながら聞いていた私に「たくさんの方がボランティアに来てくれて心強いです。」とほほえみ、私のほうが勇気付けられました。

そんな私のボランティア活動は、物資の仕分けや瓦礫撤去、除雪に漁業支援など、看護とは全く関係なく様々でした。しかし、活動中に私が看護師だと知った被災者の方から健康相談をされることも。「お爺ちゃんがなんだか元気なくて、足を悪くしたせいか、それとも水頭症のせいか、外に出なくなって」と。そのお宅に行き始めたころは殆ど顔を見せなかったお爺ちゃんですが、日に日に外に出てくる時間が増え、さらにはボランティアに教えながら一緒に作業をするようになり、笑顔も増えました。ずっと拒否していた受診も自ら行くと言い出しご家族も驚いていました。受診の結果、水頭症に変化はなく震災によるストレスによるもので、ボランティアの支援を通して人や社会との繋がりが良い影響を与えたのだろうと言うことでした。

そっと寄り添うだけでも繋がりを感じられることや、人や社会と繋がっているということの大切さを実感した被災地での日々でした。



手術室看護師 大西一恵



震災前の石巻市北上町



震災後約1年が経過した同所

新任ドクター紹介

脳神経外科 山内 朋裕(やまうち ともひろ)

皆さん、はじめまして。平成25年4月から勤務させて頂いています。脳神経外科医として11年目になります。これまで北大病院での研修を含めて、札幌・網走・帯広・旭川・八雲・函館などで勤務しています。出身地は網走市です。脳外科医としては修行の身ではありますが、この北海道脳神経外科記念病院には、すばらしい技術と経験をもった諸先輩先生と、神経内科医、循環器内科医がいます。患者さんとご家族の立場に寄り添いながら、良質な医療を病院職員の皆さんと一緒に提供していきたいと思ひます。皆様、よろしくお願ひいたします。



スタッフ紹介



3階病棟看護師 新海 聖歌

回復期リハビリ病棟を担当しています。着替えをしたり・食事をしたり、健康な時に当たり前に行えていた動作が、突然の病気により障害を受け、思うように動作を行えない患者様が多くいらっしゃいます。リハビリをするには、先ず患者様が後遺症や障害に向き合う気力が一番となります。精神面・身体面の観察を行いながら、患者様の気持ちに寄り添ったサポートができるよう、医師、リハビリ療法士、医療相談員と情報交換しております。患者様・ご家族の支えとなれるよう努力していきますので、よろしくお願ひします。



4階病棟看護師 叢島 智江

かつて私が看護の勉強を始めた頃の苫小牧市郊外の職場には、散歩コースに沼や山があり、夜には満天の星空に見守られ、雨の日には蛙の声が大合唱で、夜勤帰りの車の前を鹿が横切る、文字通り自然の中でした。新病院が住宅地の中に移転し、朝日や夕日や星空がどのように見えるかということに関心を持っておりました。4階病棟では手稲から藻岩まで続く山並みが一望できます。夜、繁華街の観覧車が色を変える様子を眺めることができ、高架を走る電車がかわいらしく見えます。星空は見えにくくなりましたが、虹を見ることができます。夜明けから夜景へと一日が流れ、四季の移ろいを感じることができます。その景色は私たちよりも、入院して治療に励まれている患者様たちの心に寄り添っているのかも…と思ひます。



2階病棟看護助手 金子 聡美

2階病棟は一般病棟として多くの患者様を受け入れており、脳卒中の急性期治療体制を整えております。入院するにあたり、不安なことがあると思ひますが、安全・安心・快適に入院生活がおくれるよう、スタッフ一同お手伝いしたいと思っております。いつでも声を掛けてください。



言語聴覚士 河村 孝司

言語聴覚士として、言語聴覚療法と摂食機能療法を担当しています。入職して4年が過ぎましたが、日々試行錯誤を繰り返しております。ところで、私はスキーが趣味で、この冬ニセコによく行きました。ニセコは外国の方がとても多く、思い切った声を掛けても、通じることはほとんどありませんでした。それでも片言の英語で気持ちが通じたときは最高にうれしかったです。私の関わる患者様には意思疎通が図れない方がたくさんおられます。訓練は辛い時が多いと思ひますが、意思が通じた時のうれしさを実感していただける、そんなリハビリになるよう頑張っています。



総務課 折戸 敦子

総務課の仕事は経理、労務、人事、設備管理、庶務、それに入院患者様の他院受診時の送迎など広範囲にわたります。患者様と直接接する機会は少ないですが、「ご意見箱」の“患者様の声”に耳を傾け、他部門と連携し、患者様が安全かつ安心して治療を受けられる医療環境を提供できるよう、精一杯努力して参ります。お気づきの点などございましたら、お気軽にお声かけ下さい。

外来診療体制

平成25年4月1日(月)より外来診療体制が変わりました

外来担当医表

	月MON	火TUE	水WED	木THU	金FRI	土SAT					
						第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	
午前	脳神経外科	会田青 田樹今 村	会田小 田柳 鏡谷	吉野 小柳	会田今 村本 宮	会田会 青青 加加 藤藤	今村今 青青 森森	鏡谷鏡 小小 柳柳	会田会 田田 加加 藤藤	鏡谷鏡 小小 柳柳	交代制
	神経内科	緒方	輿水	緒方 輿水	輿水	緒方	休診	輿水	休診	休診	休診
	循環器内科	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~11:30)	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~12:30)	休診				
午後	脳神経外科	森脇 青樹	加藤 小柳 吉野	山内	今村今 本宮 (15:00~17:00)	今村今 村加 藤藤 (16:00~17:00)	休診				
	神経内科	輿水		大槻 方	輿水		休診				
	循環器内科		野村 (14:00~17:00)		野村 (14:00~17:00)		休診				

注)循環器内科、野村医師の診察は再来のみとなります

受付・診療時間

◆ 午前の診療

受付は、平日が午前8時40分から11時30分まで
(※土曜日は午前8時40分から12時30分まで)
診察は、午前9時より行います

◆ 午後の診療

受付は、午前11時30分から午後5時まで
診察は、午後2時より行います

- ①診療予約は午前9時から午後5時まで、外来受付またはお電話でお受けいたします。予約のお申込み・お問い合わせは、原則受診希望日の前日までにお願いたします。予約をされていない患者様も、従来通り診察を受けていただけます。
- ②患者様の症状等によって診察の順番が前後したり、急患の対応等で診療開始時間が遅れることがありますのでご了承下さい。
- ③診療医師が不在の時は、他の医師が診察させていただきます。不在日は掲示板にてご確認ください。
上記のほか、緊急手術等によりやむを得ず診療医師が変更する場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。
- ④当院は24時間救急対応をいたしております。
お電話にてご連絡の上、ご来院下さい。(TEL:011-717-2131)

歯科

院内歯科では、外来はもとより 入院中の患者様の治療も行っています。

診療時間

月・金	10:00~13:30	15:00~18:00
火・木	10:00~13:30	15:00~20:00
水	10:00~13:30	15:00~18:00*
土	10:00~14:00	

*水曜日の午後は他院往診のため、休診となる場合があります。
お電話でご確認の上、ご来院下さい。

休診日

第2・第4土曜日、日曜日・祝祭日

歯科直通

ナイナイムシバ
TEL&FAX:(011)717-1648

理念

1. 患者様第一を旨とし、患者様とご家族に安心と満足を提供致します。

基本方針

1. 分かりやすい医療情報を提供致します。
2. 病々・病診連携を推進致します。
3. 根拠に基づいた最新の医療を提供致します。
4. 24時間365日に救急医療体制を提供致します。
5. 健全な病院経営と効率化に努力致します。
6. 安全な医療を提供出来るよう職員の安全教育に努めます。

患者様の権利

私たちは患者様の権利を尊重します

1. 患者様の意志および人権は守られます。
2. 患者様は十分に納得出来るまで説明を受けることが出来ます。
3. 患者様は治療方法を選択することが出来ます。
4. 患者様は平等で適切な医療を受けることが出来ます。
5. 患者様の医療上の個人情報を守られます。
6. 検査、治療にあたっては、他の医療機関での説明を得る事(セカンドオピニオン)が出来ます。

Caduceus Information

私たち 北海道脳神経外科記念病院は、

脳・脊髄・末梢神経の疾患を

急性期からリハビリテーションまで

総合的に診る病院です。



交通アクセス

- ① 地下鉄南北線「北24条」駅から中央バス「北72」または「西51」「南新川」下車
- ② 地下鉄東西線「二十四軒」駅からJRバス「軒32」「八軒8条東4丁目」下車
- ③ 地下鉄南北線「さっぽろ」駅13番出口を出て右、西武デパート跡地南側から中央バス「西71」「南新川」または「西51」「北22条西15丁目」下車

医療法人社団 研仁会 北海道脳神経外科記念病院

〒063-0869 札幌市西区八軒9条東5丁目1-20 TEL.011-717-2131 <http://www.hnsmhp.or.jp>